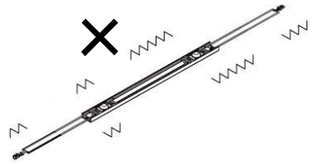
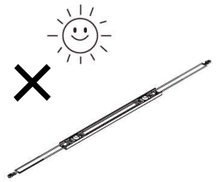
7. その他の注意

LED灯具は下記のような環境、条件では使用できません。ご注意ください。

本製品を仕様書に記載された定格値を超えてご使用になった場合や、上記の使用条件を逸してご使用になった場合に起きた、いかなる事故・故障・損害にも弊社はその責を負いません。

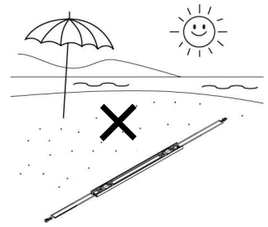


振動の大きい場所
（電源、LEDの破損の恐れがあります。）

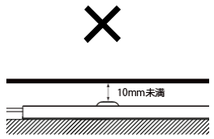


直射日光にさらされる場所
（灯具劣化による漏電、火災の恐れがあります。）

引火性ガスや発火性可燃物のある場所での照射
（火災の恐れがあります。）



海辺やプールサイドなど、塩害を引き起こす可能性のある場所
（灯具劣化による漏電、火災の恐れがあります）



近接照射限度距離（10mm）以内での可燃物への照射
（過熱による製品劣化、火災のおそれがあります。）

8．［点灯しないときには］

修理を依頼される前に、もう一度下記項目を確認してみてください。それでも解決しない場合や、ご不明な点はアリストジャパンまでお問い合わせください。

症状	原因
駆動用電源に繋がるＬＥＤモジュールが全て点灯しない。	・駆動用電源に給電されていない。 → 交流電源から給電されているかご確認下さい。 ・駆動用電源が駆動できる上限以上の数のＬＥＤモジュールが接続されています。 → 本取扱説明書［２．設置数量］駆動可能モジュール数を確認して下さい。 ・ＬＥＤモジュールの接続が間違っています。極性や方向性を合わせて下さい。 → 本取扱説明書［３．製品の接続］を参照下さい。 ・終端のＬＥＤモジュールの＋－配線が短絡されていません。 → 本取扱説明書［３．製品の接続］を参照下さい。 ・駆動用電源の保護回路が動作している。 → 保護回路をリセットする必要があります。1次側の給電を遮断し、１分以上待機した後で、再度給電して下さい。 ・調光用配線が短絡している。 → 調光機能を持つ駆動用電源の場合、調光用の配線を短絡させないようにして下さい。 調光機能をご使用にならない場合は配線の端子を絶縁して下さい。
駆動用電源に繋がるＬＥＤモジュールの一部が点灯するが、残りの部分が点灯しない。	・点灯していないＬＥＤモジュールの極性・方向性が合っていません。 → 本取扱説明書［３．製品の接続］を参照下さい。
ＬＥＤモジュールは点灯するが、輝度不足である。	・駆動用電源が駆動できる上限以上の数のＬＥＤモジュールが接続されている。 → 本取扱説明書［２．設置数量］駆動可能モジュール数を確認して下さい。 ・使用されている駆動用電源の種類・型式が合っていません。 → 本取扱説明書［２．設置数量］を参照下さい。
ＬＥＤモジュールが点滅している。	・駆動用電源が駆動できる下限以下の数のＬＥＤモジュールしか接続されていません。 → 本取扱説明書［２．設置数量］駆動可能モジュール数を確認して下さい。 ・使用されている駆動用電源の種類・型式が合っていません。 → 本取扱説明書［２．設置数量］を参照下さい。

ARISTO JAPAN Inc. electronics mechanical products R&D and manufacturing

取扱説明書

ペンタワイド スティックCC
Penta Wide Stick CC

STCC4-XX-65Mシリーズ
XX = 12 / 06/ 03 (L=1140mm / 620mm / 360mm)

この度は当社LED製品をお買い上げいただきましてありがとうございます

安全に関するご注意

感電や火傷、漏電・発煙・発火・製品落下などの重大事故や、製品周囲の構造物損傷・製品故障などの損害を防ぐために、本製品の取り扱いや施工・ご使用にあたっては以下の内容を必ずお守りください。

※ いつでも読むことが出来る様に、この説明書は製品をご使用されるお客様にて必ず大切に保管してください。

⚠ 警告

●本製品の施工における配線工事には電気工事士の資格が必要です。一般の方による電気工事は法律で禁止されています。
また、本製品の施工や使用などに関わり、設置国や地域にその他の法令や規制がある場合は、必ずそのすべてに従ってください。
●本製品は屋内・半屋外用の器具です、直射日光のあたる場所、雨水が直接あたる場所、製品が水没状態になる場所、海辺などの塩害地域、温泉や屋内プールなど腐食性ガスが発生する場所、石油・化学プラントなど可燃性ガスが発生する場所、粉塵の多い場所、可燃物で製品が覆われる場所では使用出来ません。また、橋や高架上など振動･衝撃が多い場所への設置、移動灯としてのご使用もおやめください。
●製品は仕様書・図面・取扱説明書や本体表示などの注意事項をあらかじめよくご確認・ご理解の上で、正しくご施工・ご使用ください。
●製品は許容された温湿度環境範囲内、あるいは筐体温度上限以下でお使いください。また、製品周囲は断熱材などで覆わないでください。
●製品の取付場所の構造には製品の重量や固定力などの荷重に耐える充分な強度を確保してください。
●ＬＥＤモジュールの点灯には必ず、弊社が供給または指定・認定した駆動用電源をご使用ください。
●駆動用電源は必ず、ＬＥＤモジュールの接続数に合った出力範囲のものをご使用ください。
●駆動用電源（一部機種除く）には必ず、電気設備技術基準に準拠したＤ種接地工事を行ってください。
●ＬＥＤモジュールのコードには方向性（ＩＮ・ＯＵＴ）および極性（＋・－）があります。施工作業時の駆動用電源との接続においては、それらを間違えないでください。
●施工時に必要な場合、スティック連結部のコードは途中でカットしたり、他の連結と接続したりしてもご使用いただけます。
その際、コード接続の方向性や極性は絶対に間違えないでください。尚、カットした連結の終端側（ＩＮと反対側）のコードを短絡してお使いいただく必要があります。
●各部のコード接続は確実に行い、接続箇所には自己融着テープ・防水圧着端子・防水タイプ熱収縮チューブなどで充分な防水および絶縁の処理を行ってください。特に防水処理は、接続部分だけでなくコードの被覆・ジャケット部に至る広範囲に行う必要があります。
●製品各部のコードで製品本体を吊下げたり、コードを強く引っ張ったりしないでください。
また、コード被覆に工具や周辺部材などで傷をつけたり、コードを製品と構造物の間に挟み込んだりしないでください。
また、張力や鋭角の曲げが生じるコード配線はおやめください。
●駆動用電源とＬＥＤモジュール間のコードを延長する必要がある場合は、１．２５ｓｑ（ＡＷＧ１６相当）から０．５ｓｑ（ＡＷＧ２０相当）までの電線をご使用ください。
尚、コードの延長が極端に長なる場合など、コードによる電圧降下に応じてＬＥＤモジュールの接続数を減らす必要が生じる可能性があります。
［参考］（駆動用電源の最大出力電圧－コードによる降下電圧値）÷ＬＥＤモジュール単体の動作電圧＝ＬＥＤモジュール接続数
●落雷による主電源線や構造物への雷サージの発生が懸念される場合には、製品への雷サージ印加の防止・保護の対策を充分に行ってください。
●ＬＥＤモジュールのレンズ周囲のは防水用のシリコーン樹脂によるコーキングが施されています。この部分に鋭利な物を突き刺したり、樹脂を引き剥がしたりしないでください。
●目に障害を起こしますので、点灯確認や点検作業の際などに、点灯中のＬＥＤモジュールの光出射部を直視しないでください。
●製品の真下や直近には、ストーブ・コンロなどの熱源や、加湿器などの蒸気源を置かないでください。
●点灯中及び消灯直後の製品は高温になっていますので、手を触れないでください。
また、製品のお手入は必ず電源を切った状態で、製品の温度が充分に下がった状態で行ってください。
●本製品にも寿命があり、たとえ外観や点灯状態に異常がなくても内部の劣化は進行している場合があります。
３年に一回は専門家による点検をお受けになり、設置から８～１０年を目安に交換を行ってください。
（３０℃を超える高温環境での点灯や、日に１０時間あるいは年間３，０００時間以上の長時間点灯をされた場合には、製品寿命が短くなり、交換時期を早める必要が生じることがあります。）
●製品に万一、動作・点灯状態や外観の異常や煙や異臭の発生などが見られた場合には、すぐに使用を中止して、工事業者または販売元に交換または修理を依頼してください。
●製品の分解や改造などは絶対に行わないでください。尚、万一故障が発生した場合にも、本製品はお客様による修理が出来ません。

⚠ ご注意

●本製品は「ホットプラグ（活線挿抜）」に対応しておりません。ＬＥＤモジュールと駆動用電源の接続・切断の際には必ず事前に主電源をお切りください。
もしも点灯中にＬＥＤモジュールの接続を切断してしまった場合には、すぐに再接続をせず、先ず主電源を切り、１０分程度の時間をおいてから再接続を行ってください。
また、ＬＥＤモジュールの点灯・消灯を行うためのスイッチやブレーカー類は必ず、駆動用電源の入力（ＡＣ）側に設置してください。
●本製品の光源であるＬＥＤは静電気・サージ電流や逆方向電流などに対して特に敏感な電子デバイスです。
それらによるダメージを受けた場合、ＬＥＤが急速劣化し短時間で不点灯・点滅・暗灯などの異状を示すことがあります。
ＬＥＤモジュールの入力コード導体を素手で触ったり、適合外の電源に接続したり、コード方向性・極性の逆接続を行ったりするなど、静電気や過電流・逆電流が印加されない様、お取り扱いの際には充分にご注意ください。
また、お取り扱い中にその様な事態が生じた場合は、例え点灯していても内部の故障が生じている可能性がありますので、そのままご使用せずにＬＥＤモジュールの交換を行ってください。
尚、本製品の搭載ＬＥＤは人体帯電モデルの静電気耐圧が各８ＫＶ以上となる様に保護されております。
●製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布か、薄めた中性洗剤に浸した後で良く絞った柔らかい布で拭き取ってください。
製品の清掃に酸性・アルカリ性の洗剤やシンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使ったり、製品をたわしやクレンザーなどで磨いたりしないでください。
また、製品には殺虫剤類をかけ ないでください。

お願い

●この製品の駆動用電源（一部を除く）にはソフトスタート機能が内蔵されています。
電源を入れてから点灯するまでに若干（数秒）のタイムラグを生じる場合がありますが、それは異常ではありませんのでご了解ください。
●ＬＥＤを光源とした照明器具はその発光波長成分特性などから、白熱灯や蛍光灯などの従来光源と比べて、同型式の製品おいても個々の明るさや色調のバラツキを大きく感じる場合があります。
この点については予めご了承ください。

アリストジャパン株式会社

■ 取付方法

事前に必ず、「安全に関するご注意」をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。
静電気による製品の故障を避けるために、作業場所・作業者や工具類の静電対策を行ってください。

1．モジュールの配置、向き

看板の深さ、乳半の種類などに応じてLEDモジュールの配列を決定します。
製品に水が溜まらないように、配線が水平になるように 配置計画をして下さい。

2．設置数量

LEDスティックに搭載されているLEDの合計数に応じて駆動用電源を用意します。

⚠ 駆動可能モジュール数の範囲に満たない、あるいは超えた接続は、LED点滅、不点灯、輝度低下等、異常点灯の原因となります。

LEDモジュール搭載数

製品長L (mm)	LEDモジュール数(pcs)
1140	5
620	3
360	2

700mA

駆動用電源 型番	駆動可能ＬＥＤ モジュール数
TEP4-700-250NF	50～64pcs(AC100V)
	50～76pcs(AC200V)
β2-700-130NF	24~ 40pcs.
β1-700-65NF	12 ~ 20pcs.
K68-027C070-301	6 ~ 12pcs.

350mA

駆動用電源 型番	駆動可能ＬＥＤ モジュール数
β1-350-130NF	24 ~ 40pcs.
K68-018C035-401	5 ~ 15pcs.

※製品により搭載LED個数が異なりますので、LEDモジュール数で計数してください。

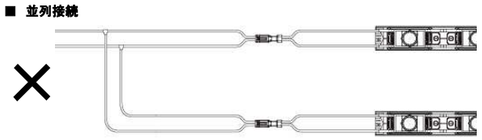
3．製品の接続

モジュールと配線の極性

⚠ 製品には極性と向きがあります。LEDモジュールの向きと配線の極性はあっていますか？
また、入力は必ずIN側から電流が入るようにしてください。
（製品に矢印で入力方向が示されています）

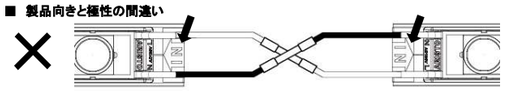
コード赤：＋　黒：－

■ 並列接続



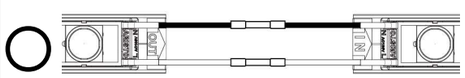
並列に接続すると、点滅や輝度低下あるいは不点灯などの症状が発生することがあります。

■ 製品向きと極性の間違い

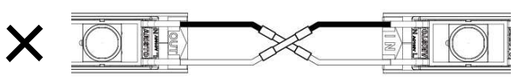


製品には電流の向きを示すラベルが貼付されております。
矢印の向きを合わせ、配置してください。

■ 正常な接続

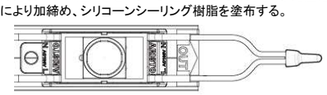


■ 配線極性の間違い



■ 終端処理をお客様側で行う場合

終端の導体を短絡させ（ループ処理）、ダルマ端子（閉端圧着端子）により加締め、シリコーンシーリング樹脂を塗布する。



■ 結線処理をお客様側で行う場合

一般的な絶縁テープを導体に巻き付けるだけではなく、必ず自己融着テープもしくは下記熱圧着端子にて接続してください。

推奨熱圧着端子：ニチフ
SB1816　or　SB2218

【注意】コードの切断と接続について

弊社オプション品を使用せず、お客様側で配線の工事をされる場合には、下記を十分ご留意の上、施工工事をして頂けますようお願いします。
製品の点灯・不点灯時、製品筐体内の空気圧が増減し、コードの芯線部を伝って、製品筐体内部に水が浸入しやすくなります。そのため、コード結合部には絶縁テープを巻くだけ、非防水の圧着端子を加締めるだけでは防水にはなりません。必ず自己融着テープや防水タイプ熱収縮チューブをご使用頂けますようお願いします。

⚠ 上記のような施工時のトラブルを避けるため、弊社のコネクタを切断せずご利用ください。
また、オプションパーツも準備しておりますのでご利用ください。（【4．製品の接続（オプション品）】参照）

4．製品の接続（オプション品）

製品の接続にはオプション品の延長コードをご使用ください。

■ ＬＥＤ製品間

オプションの延長コード ST-CC-EX_A (1m)を使用し接続してください。

ST-CC-EX_A

L = 1,000 mm

■ ＬＥＤ電源－ＬＥＤ製品間

オプションの延長コード ST-PLC_A を使用し接続してください。

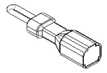
ST-PLC_A

L = 230 mm

■ 終端処理

防水処理された末端コネクタ ST-CC-EC_A をオプション販売しております。

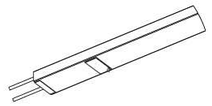
ST-CC-EC_A



5．構造物への取り付け

■ 両面テープによる仮固定

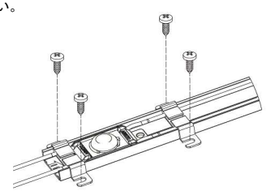
製品に貼付された付属両面テープの片側の剥離紙を剥がし、モジュールを設置面に仮固定します。（仮固定が不要な場合にはこの作業は省略可能です。）
※ 剥離紙を剥がした後の両面テープの粘着面には、手指などで触らないでください。



■ 取り付けクリップ（オプション）による固定

製品固定用に取り付けクリップ ST-CL_A をオプションでご用意しております。
製品を両面テープで仮固定後、製品にはめ込み、M4のタッピングネジを各クリップにつき2個、被設置面に打ち込んでください。

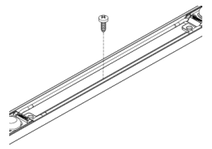
取り付け用クリップ
ST-CL_A



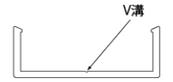
⚠ 付属の両面テープのみではＬＥＤスティックの固定はできません。ネジ止めするか、オプションの取り付けクリップあるいはシリコーン接着材などで確実に固定してください。

■ ネジ止めによる固定

※ ＬＥＤスティックは、Ｍ４以下のタッピングネジあるいは充分な接着力を持ったシリコーン系接着材で、構造物に確実に固定してください。
※ ネジはＬＥＤスティック1本あたり最低２ないし３本使用し、製品を固定してください。
※ シリコーン系接着剤でＬＥＤスティックの周囲をコーキングして固定する場合には、ＬＥＤスティック裏面と構造物面に隙間が生じない様にしてください。



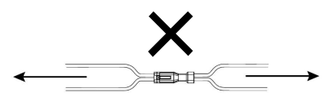
※製品の中心ラインにはV溝が入っております。
V溝のどの部分にもネジを打ち込む事ができます。



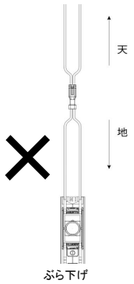
アルミパーツ断面図

⚠ コネクタ施工上の注意

コネクタの接続は、本体を構造物へ取り付けた後、行ってください。
製品をぶら下げながら施工することは厳禁です。
また、製品をコネクタ接続した後、コード両側を引っ張らないでください。
断線やコネクタが破損し、製品が正常に点灯しなくなります。



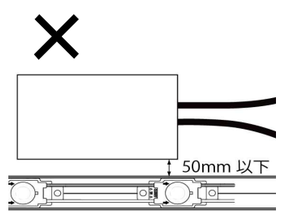
引っ張り

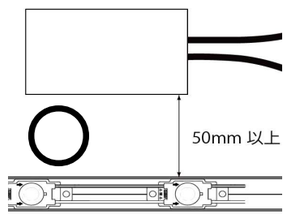


ぶら下げ

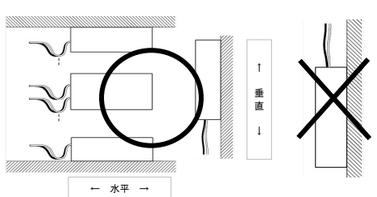
6．駆動用電源の固定

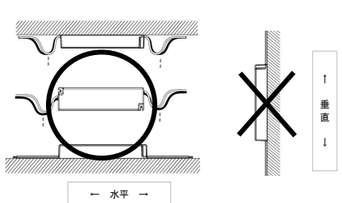
※ 駆動用電源をＬＥＤモジュールと共に構造物内に収納する場合は、駆動用電源による光の遮蔽.乱反射などが起こらない様、配置場所には充分ご注意ください。
また、熱の影響を 避けるために、LEDモジュールと駆動用電源の間には必ず50mm以上の間隔を空けてください。





※ 長期的な信頼性を確保するため、ケーブルを伝った水が駆動用電源の上などに溜まることを防ぐために、駆動用電源の設置方向は出来るだけワイヤ引き出しが水平方向になるか、あるいは本体より下方向になるように配慮してください。





⚠ 主電源が給電されたままの状態で、駆動用電源やＬＥＤモジュールのコード接続作業を行わないでください。感電や火災、製品故障の原因となります。
⚠ 駆動用電源からLEDモジュールまでのコードを延長する場合、VCTF-1.25sq / AWG16を使用し、最大長を50mまでとして下さい。